

議長定例記者会見 会見録

日時：平成25年4月10日13時00分～

場所：全員協議会室

1 発表事項

○発表項目なし

2 冒頭の発言事項

○2月定例会議を終えて

3 質疑項目

○通年議会の評価について

○「みえ森と緑の県民税条例」について

○北朝鮮の動きについて

○正副議長選について

○議長任期2年制に対する評価について

○鈴木知事の議会対応について

2 冒頭の発言事項

○2月定例会議を終えて

（議長）ただ今から、4月の議長定例記者会見を開催させていただきます。本日は、発表事項が特にありませんが、2月定例会議も終わりましたので、今年から導入いたしました通年議会の状況も含めまして、少し感想を述べさせていただきますと思います。

本年1月17日に、平成25年三重県議会定例会が開催いたしまして、三重県議会においても通年議会が始まったところでございます。このことによりまして、年間を通しての議会活動が可能となったわけで、県政の諸課題について、随時、会議を開催することができるようになったところでございます。特に、2月15日には緊急に本会議を開催し、北朝鮮の地下核実験に抗議する決議案を速やかに可決するなど、通年議会ならではの効果を、私自身感じたところでございます。

2番目といたしまして、2月の定例会議でございますが、すでにご承知のとおり、国の予算編成作業の遅れを受けて、開催日が例年に比べて大きく3月にずれ込むなど、過密なスケジュールとなったわけでありまして。このような中で、県議会では、平成25年度当初予算を中心に、活発な議論が展開されまして、特に「首都圏営業拠点」や「スポーツ振興に係る基金」などにつきまして

は、問題提起もさせていただいたところでございます。

また3番目といたしまして、本定例会議には、県民や企業に新たな負担を求める「みえ森と緑の県民税条例案」が上程されました。県議会といたしましては、これまで連合審査会を開催したり、有識者を参考人として招致するなど、慎重な審査を重ねた結果、本税の導入が、災害に強い森林づくりや、県民全体で森林を支える社会づくりを推進するという、そういう趣旨でありまして、大変重要なものであることから、条例案を原案のとおり可決したところでございます。今後は、執行部において、県民や企業への理解が進むように、さらなる周知に努めていただきたいと、こういうふうに思っております。当然われわれ議会もそのような気持ちで今後とも、それぞれの地域でがんばってまいりたいな、そんなふうに思っております。

以上が2月定例会議を終えての私の感想でございます。以上です。

3 質疑応答

○通年議会の評価について

(質問) 通年議会が始まってのお話があったんですけど、あらためて、議長としての評価を今のところをお願いしたいんですけども。

(議長) いつでも議会が開かれていますから、突発的な事柄についてですね、議論ができると、そういう場があるということは、本当に議会としてですね、本来の議会としての機能が発揮されるんだな、そんなふうに思います。ご承知のとおり、今日か明日か分かりませんが、また北朝鮮がですね、あのようなことをされようとしている中で、われわれ議会としてもですね、もうすぐに対応できるような、そんな準備を今現在しております。ですので、この通年議会というのは良かったな、こんなふうに思いますね。それを通じてですね、昨日、全国都道府県議会議長会に行っていました、通年議会はどうですね、と言われましたので、他の県の議長さんたちにもですね、今まで少しでありますけれども、日数についてはですね、数カ月でありますけれども、非常にいい通年議会です、ということをお願いしました。

(質問) 今メリットをお話しされて、始まってまだ間もないですけども、課題のようなものとかですね、通年にすることによって、支障が出ているようなことがもしあれば伺いたいと思います。

(議長) 支障が出てるというようなことはありません。それとですね、前からもずっと議論を重ねてまいった中で、執行部の人がですね、常に議会、特に議員にですね、呼ばれて自分たちのルーチンワークに支障をきたすのではないかと

なというような、そういう懸念があったとしたら、それはもうそうじゃないわけで、しっかりとした良識をもってですね、われわれ議会サイドは議会を運営しておると、こういうことであります。

○「みえ森と緑の県民税条例」について

（質問）森林税、可決しましたけども、市町からの受け止めはどんなふうに聞いていますか。

（議長）私はですね、まだ森林税について周知が徹底されてないように感じます。これからまだもう少し時間がありますから、執行部もわれわれ議会もですね、特に都会に住む方々への周知をもっともっとやってもらわないといけないのかなというふうに思います。ほとんどの方が知らないのではないのでしょうか。

（質問）末松鈴鹿市長が定例会見で使い道が難しいというふうに言っていましたけども、市長、町長はどんなふうに。

（議長）市長さんもあのような見解を述べられておりましたけども、理解を求めますね、県としてももっともっと努力しなきゃいけないな、そんなふうに思います。

（質問）関連なんですけど、いま議会としても周知を図りたいということは、具体的に何かどういった活動でっていうのはありますか。今のところ。

（議長）議会議員ですか。

（質問）ええ。

（議長）われわれもですね、私はたまたま海辺に住む人間です。ですから森林税って何やいなというような、そういう方々が多いと思うんですね。そういった意味でいろんな会合があったり総会があったり、住民の人たちと触れ合う機会がありますから、そういう時にですね、森林税というのはこういうもんだと、森は海の恋人だと言ってですね、海と森との関係というのは非常に深いと、こんなことも含めながら私は説明していこうかなと思うし、都会は都会で、今日は副議長、津ですので、また津の市民の人たちにですね、いろんなそういう説明する機会があろうかと思えます。

（質問）先日大雨降りまして、三重県に目立った被害は無かったですけども、

隣の和歌山で増水してですね、斜面が若干崖崩れになるような形とかですね。和歌山の方で水漏れ等発生しまして、そういった状況を見てですね、今回の税に関して、改めて何か思うことありましたらお願いします。

(議長) 今のことも関係するんですね。ですから例えば紀州はもちろん、森林の非常にですね、本家本元です。だけど森林はまさに国土保全という意味では非常に大事な産業だということを県民、180万県民がみんながですね、共有するということが大事ですので、これを先ほど言ったようにもっともっと努力していく、そんな必要があるのかなと、そんなふうに思います。

(質問) 関連で副議長、都市部選出ということで、その辺の思いをちょっと伺いたいと思います。

(副議長) 津市も都市部だけではなく、美杉も持っておりますから、とりわけ16号台風の時には美杉の方にも大きな被害を受けています。ですから津市の皆さんは意外と美杉の災害ということも記憶に残っておりますので、受け入れがしやすい環境かなと思いますし、もちろん私たちも市長さんをはじめとする執行部の皆さん、それから市議会議員の皆さん、当然のことながら県民、市民の皆さんにも事あるごとに必要性は訴えていきたいというふうに思っています。

○北朝鮮の動きについて

(質問) 先ほど、北朝鮮のミサイルのことを触れられましたけども、今そういう動きがあるということの所感と、常に対応できる準備をしているということでしたが、どういう準備をしているのかという。

(議長) 県が。

(質問) 県議会として対応できるように準備をしているという話だったのですが。

(議長) まずは、議会のそれぞれの会派の代表者の人たちに、例えば寄ってもらおうかと。いつ寄ってもらおうかと。それには、どのような、過去にありましたから、こういった、今、事務局と相談をしているわけですが、例えば、ミサイルだけなのか、核実験だけなのか、というようなこともあったりしてですね、それによって文言も違うし、詰めるところも状況を見てみないとかなかかはっきりしたことは言えませんが、いろんなパターンに応じられるようなそういうような準備を現在していると、そういうことであります。別に国のようにPAC3をと何か何とかということではなくて、われわれは決議案の声明ですから、

それについての文言について事務局と現在協議中と、こういうことであります。

(質問) 決議を出すことについての調整ということですね。

(議長) そうですね。

(質問) そもそもミサイルの動きについての受け止めをお願いします。ミサイルを発射するという動きがあることについてのそもそもの受け止めを教えてくださいませんか。北朝鮮がミサイルを発射しようとしていることについて議長はどう思われますか。

(議長) 本当にですね、なんて分からない国なのかなと。ますます世界で孤立してしまうということなぜ分からないのかなと、そんな憤りを感じます。それと同時に、こういうことをして、今の国際社会に合わないですね。みんなが協調しながら、それぞれ国の形があるわけですから、それにもかかわらず北朝鮮だけがこんなことをやっているということで、果たして、あの国はこれから先、存続するのかなとそんな懸念がしますね。それについて関係の深い中国なりがいろいろな動きをされているんでしょうけども、起死回生策というのがないだけにですね、ほんとにつらい思いをしています。ただ直接的な被害は日本はありませんのでまだいいんでしょうけど、もしも、ということがあったりしたらですね、どうなっていくんだろうと、そんなふうに思います。そういう意味では私は個人的に率直に申し上げて、PAC3を迎撃ミサイルですね、導入するとき、国会でいろいろな議論がありました。野党が反対してたりですね、イージス艦導入についてもいろいろな議論があったし、だけど、今考えてみたら、こういったことが国際社会では起きるわけですから、国を守るという意味では良かったのかなと、率直な感じがしますね。

○正副議長選について

(質問) 正副議長選は今どんな状況ですか。

(議長) 正副議長選の話ですか。まったく分かりません。議論もしていませんし、これからだと思いますが。それぞれの会派で議論をされてるんでしょう。分かりません。

(質問) 続投されるお気持ちはないんですか。

(議長) 私、続投しません。辞表を出します。

○議長任期2年制に対する評価について

(質問) 振り返って、まだ任期はありますけども、議長2年制はどんな感想を持ってますか。

(議長) 良かったと思います。単年度というか、1年で交代されるっていうことについてのメリット、デメリットあるんでしょうけど、過去のいきさつを理解しながら、次の年度で継続してやっていく事業もあればですね、いろんなことにつながっていきますから、そういう意味では、2年ということはいいんじゃないんでしょうか。たまたまですけども、全国議長会の会長も2年なんですね。ですので、そういう意味では良かったのかな、そんなふうに思います。

(質問) 2年間を振り返っていかがでしたか。

(議長) 振り返ってですか。私ね、5月にそのこと言おうかなというふうに思ってたんですけど、まだもうちょっと、1カ月くらいあるものですから、その時にまた質問してください。

○鈴木知事の議会对応について

(質問) 今月の下旬でですね、鈴木知事が就任丸2年になるんですけども、知事の議会对応について感想をいただきたいんですけども。

(議長) 非常に丁寧で、本会議の姿を見ててもですね、どの議員の質問に対しても丁寧に答えてみえるというのは非常に評価しています。それと同時にですね、全員協議会での議員とのやりとりとか、そういったことを見てましてもですね、分かりやすく説明されてるなあ、そんなふうに思ってますね、評価しています。ただ、先般の本会議での質問の中にありましたように、知事も非常に東奔西走しています。ですので、ある程度県内のそれぞれの地域へもう何度もおそらく行かれていると思うんですが、そういうことがいったん一回りしましたらですね、少し知事室におっていただいて、部長なり、またわれわれ議員とですね、いろんなそういった議論をしていくということもこれまた大事なことでありまして、知事だけが飛び回っているということではなくてですね、職員も含めて、我々議員も含めて一体となって県政をどうしていくんだと、そういうようなことになっていけばいいのかなと、これは個人的にそう思います。

(以 上) 13時18分 終了